

3月予算議会

2.19~3.25

2月19日から開会となった3月議会には、執行部から31年度予算案、30年度補正予算案をはじめ条例案件など31件、議会からは、意見書案10件が提案されました。

一般会計予算案、補正予算案は予算決算常任委員会、他会計予算案や他の案件は各常任委員会に付託されます。山岡光広議員は厚生文教常任委員会、小西喜代次議員は総務常任委員会、岡田重美議員は産業建設常任委員会、予算決算常任委員会は全議員で構成され、山岡光広議員が委員長を務めます。

一般会計予算案 過去最高の432億8千万

当初予算案過去最大の規模

平成31年度の甲賀市の一般会計当初予算案の総額は、対前年度比60.5億円、16.3%増の432億8千万円で、過去最大規模の予算案が示されました。特徴として、現行の新市建設計画に基づき、水口地域保育園、水口体育館、(仮称)西部学校給食センターなどの施設整備を合併特例債の活用にて進めるとし、44億円が計上されています。合併特例債は有効な財源とされ、「合併特例債がある今のうちに」と活用が急がれますが、合併特例債はあくまでも借金であり、財政の圧迫をまねかないよう慎重な活用が求められます。

国民健康保険や介護保険などの特別会計は183億5千万円、上下水道などの企業会計は125億3千万で、一般会計、特別会計、企業会計を合わせた予算案の総額は、対前年度比9.4%増の741億6千万円となっています。

コミバス無料乗車券 75歳以上に拡充

議会で繰り返し実現を求めてきたコミュニティバスの無料乗車券が10月より80歳以上から75歳以上に拡充されます。また、甲賀・甲南から甲賀病院への運行便の充実、土山地域は10月よりコミュニティタクシーが導入となります。総務部査定で減額とされていた住宅リフォーム助成制度は現行の5,000万円が予算化、特定不妊治療に加え、一般不妊治療にも助成がされます。市民の切実な願いが一定前進しましたが、ふるさと納税推進事業に5,800万円、忍者を核とした観光拠点整備事業に1億2,300万円と多額の予算が計上、また、陶芸の森周辺の土地取得に1億2,100万円が予算化されていますが、この土地は本来県が取得すべきものであり、多くの市民が疑問に思うところです。

代表質問に小西喜代次議員 2月27日

- 質問概要
- ① 市民のいのちと暮らし、安全を守る立場から、国政の課題を問う
 - ② 市長任期の折り返し点に立っての評価と課題
 - ③ 新年度予算案が市民の切実な願いを実現する予算とするために
 - ④ 幼・保学校再編計画について
 - ⑤ 開票事務不正処理問題について

(仮称)甲賀北地区工業団地に産廃関連企業 地元住民が反対

甲賀町鳥居野で進められている(仮称)甲賀北地区工業団地整備事業について、進出を希望している企業の中に、産廃関連企業があることから、地元では臨時区民総会を開催し、「産廃関連企業の受け入れはできない」との意思表示がされたとのことです。市は企業の選定は土地区画整理組合が行うとしており、住民は不安が募るばかりです。組合任せにするのではなく、地元の反対の声を重く受け止め、住民の意思を尊重した事業支援を行うことが求められるのではないのでしょうか。



一般質問

■岡田重美議員 3月5日(火) 3番目

- 1、学校給食の無償化を求める
- 2、(仮称)甲賀北地区工業団地への産業廃棄物関係企業の進出について
- 3、安全安心な住まいの提供のため市営住宅の建替えを
- 4、土山のコミタク運行とコミバスの年末年始の運行について

■山岡光広議員 3月5日(火) 6番目

- 1、高すぎる国民健康保険税の引き下げを
- 2、子どもに対するインフルエンザ予防接種に助成を
- 3、重いランドセル・教科書の改善を求める
- 4、保育園と児童保育所の待機児童の解消を
- 5、第三セクター「あいコムこうか」の経営健全化方針について

田村まつりで安倍9条改憲NO! 3000万

署名

安倍首相が9条改憲の理由として、6割以上の自治体が自衛官募集への拒否をしていることをあげています。若者の名簿を利用し戦争にかりたてるなどともありません。「戦争させない甲賀市民の会」は、今年も田村まつりの



日本共産党
甲賀市議員団ニュース
 2019年 2月 24日 第254号

 山岡 光広 甲南町森尻 16 TEL 86-2985 Fax 86-0415	 小西喜代次 信楽町勅旨 456 TEL 83-0765 Fax 83-0765	 岡田 重美 土山町南土山甲 78-15 TEL 66-0696 Fax 66-0696
---	--	--